



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.
のびゆく力、未来へ

会社説明会および 2013年11月期 決算説明会資料

2014年1月10日



目次

I.	2013年11月期連結決算	-----	p.3
II.	2014年11月期連結業績予想	-----	p.8
III.	成長戦略・中期事業計画	-----	p.15

I. 2013年11月期連結決算

業績概要(連結)

(百万円)

	'12/11	'13/11		
			増減	前年比
売上高	21,995	22,559	564	103%
営業利益	965	1,185	220	123%
経常利益	1,081	1,366	285	126%
当期純利益	653	946	293	145%

売上高: 前年比103%

・国内景気の回復に伴い、自動車・電子材料関連需要の増加により、増収

営業利益、経常利益: 前年比123%および126%

・電子材料の販売回復により、増益

当期純利益: 前年比145%

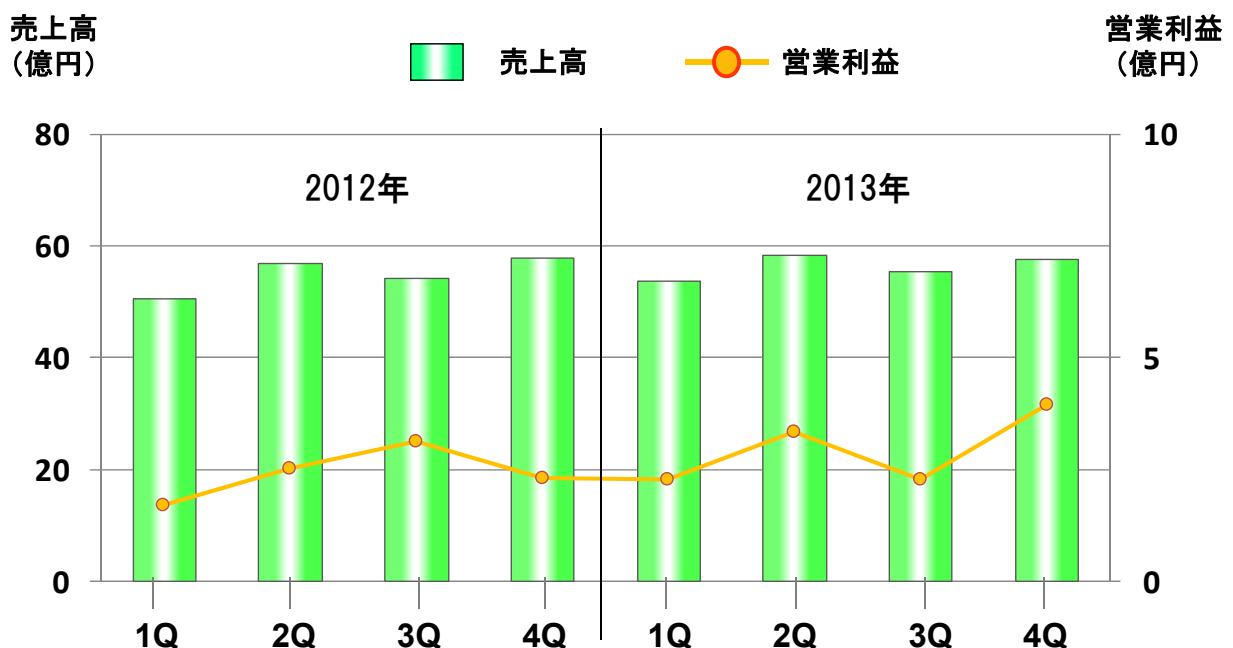
セグメント別業績概要(連結)

(百万円)

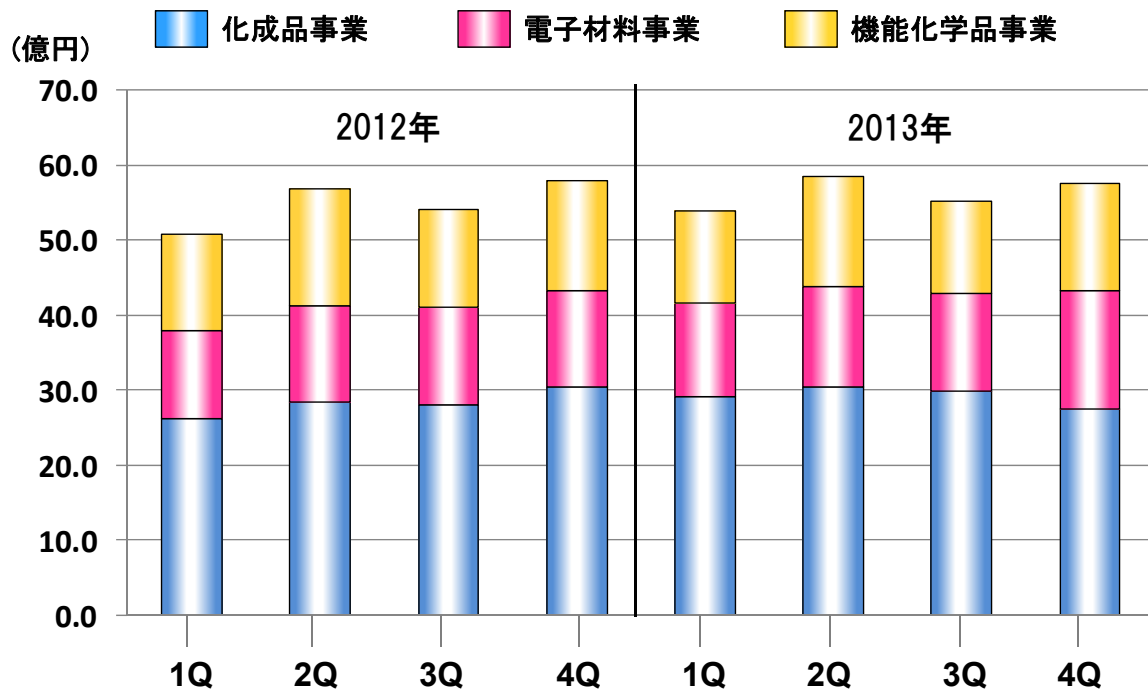
	' 12/11	' 13/11	増減	前年比
売上高	21,995	22,559	564	103%
化成品事業	11,357	11,743	386	103% ※1
電子材料事業	5,013	5,448	435	109% ※2
機能化学品事業	5,624	5,367	△257	95% ※3
営業利益	965	1,185	220	123%
化成品事業	347	263	△ 84	76% ※1
電子材料事業	457	839	382	184% ※2
機能化学品事業	147	90	△ 57	61% ※3

- ※1 化成品事業、売上高・営業利益：前年比103%および76%
・自動車、電材関連が好調で売上高は堅調に推移するも、償却負担増により減益。
- ※2 電子材料事業、売上高・営業利益：前年比109%および184%
・液晶パネル関連材料と半導体材料の需要回復に伴う販売増により、大幅増益。
- ※3 機能化学品事業、売上高・営業利益：前年比95%および61%
・一部の受託製品の販売低調により減収、大幅減益

売上高と営業利益の四半期推移



セグメント別売上高の四半期推移



II. 2014年11月期連結業績予想

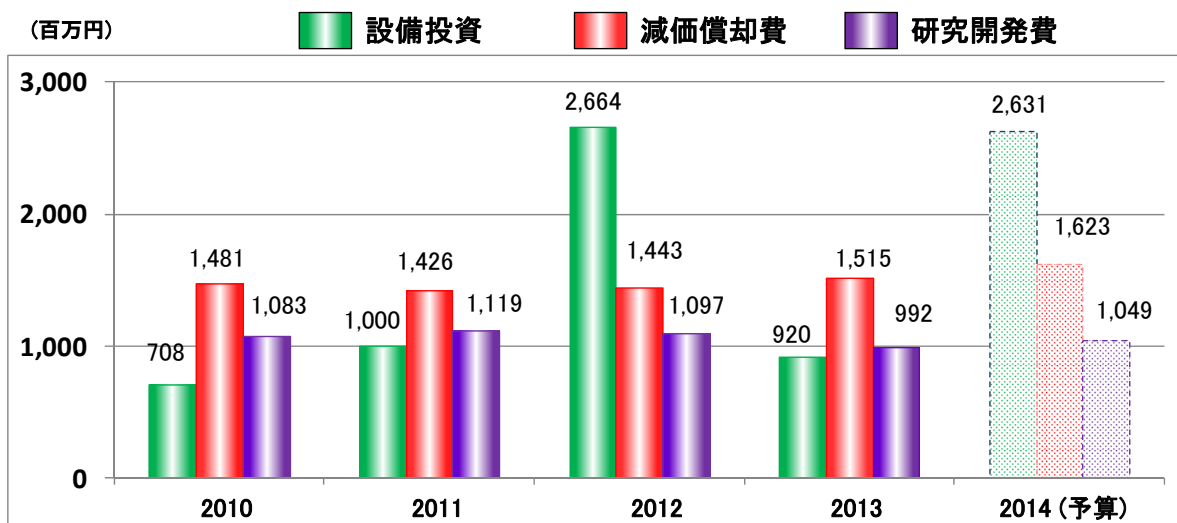
2014年11月期業績予想概要(連結)

(百万円)

	'13/11 (実績)	'14/11		
			増減	前年比
売上高	22,559	22,756	197	101%
営業利益	1,185	1,097	△88	93%
経常利益	1,366	1,188	△178	87%
当期純利益	946	717	△229	76%

償却負担増により、減益を予想

設備投資・減価償却・研究開発費



主な設備投資案件(2014/11月期)

- ・金沢工場 増産対応改造
- ・大阪工場 移管工事
- ・インフラ設備の強化
- ・研究開発、福利厚生施設の充実

化成品事業<実績と予想>

事業方針 持続成長のための安定収益基盤事業

対策

営業利益率アップのために
生産性向上によるコストダウン

海外市場への拡販強化

高付加価値品の上市

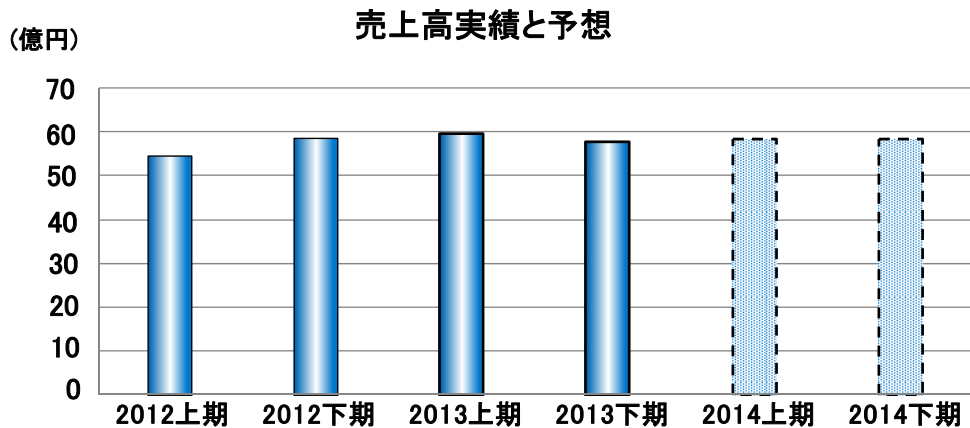


自動車塗料



パソコン

実績 ・ 予想



電子材料事業<実績と予想>

事業方針 安定した高収益性確保のための事業

対策

主力製品の海外展開によるシェア拡大

高精細・高微細化による優位性確保

次世代材料の開発に注力

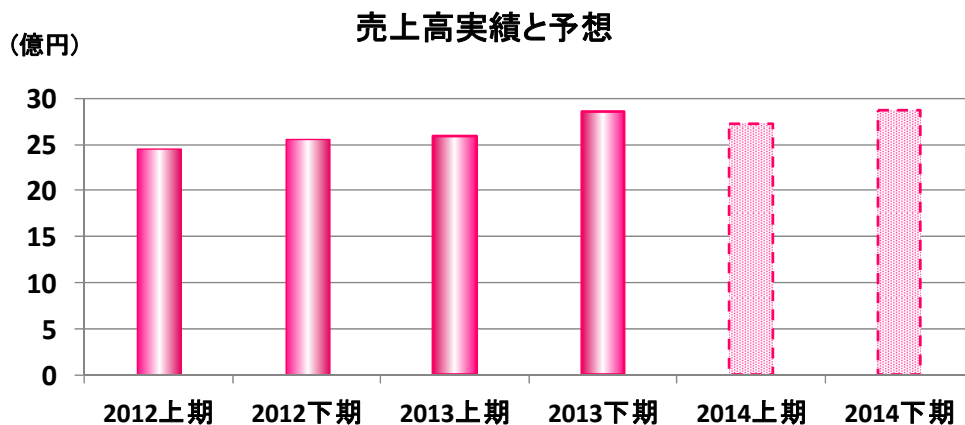


半導体



液晶

実績 ・ 予想



機能化学品事業<実績と予想>

事業方針 次期成長分野育成ための事業

対策

新規機能材料の販売促進
化粧品基材の海外展開
既存製品の合理化



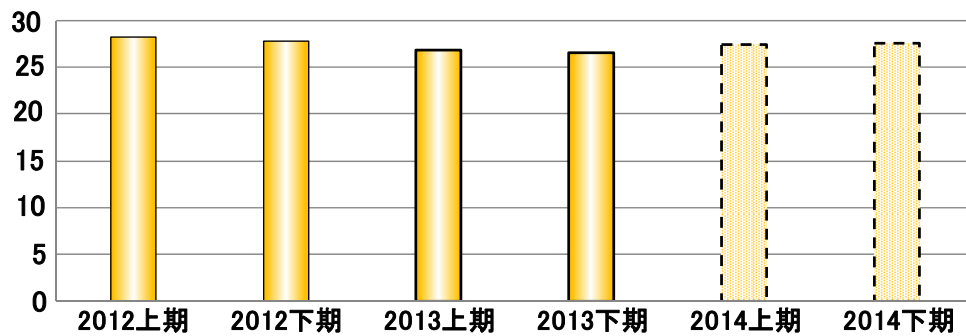
ヘアスタイリング剤用
ポリマー

医薬中間体

**実績
・
予想**

売上高実績と予想

(億円)



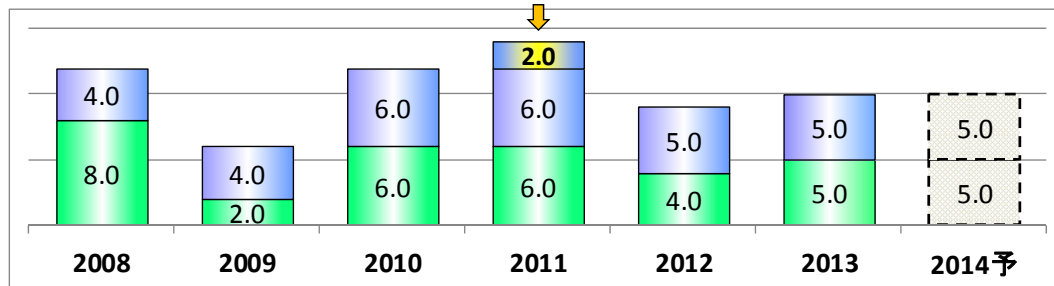
一株当たり配当金

2014年度 年間配当 10円 を予定
(中間配当5円、期末配当5円)

■ 中間 ■ 期末

東証一部指定記念配当2円

単位:円



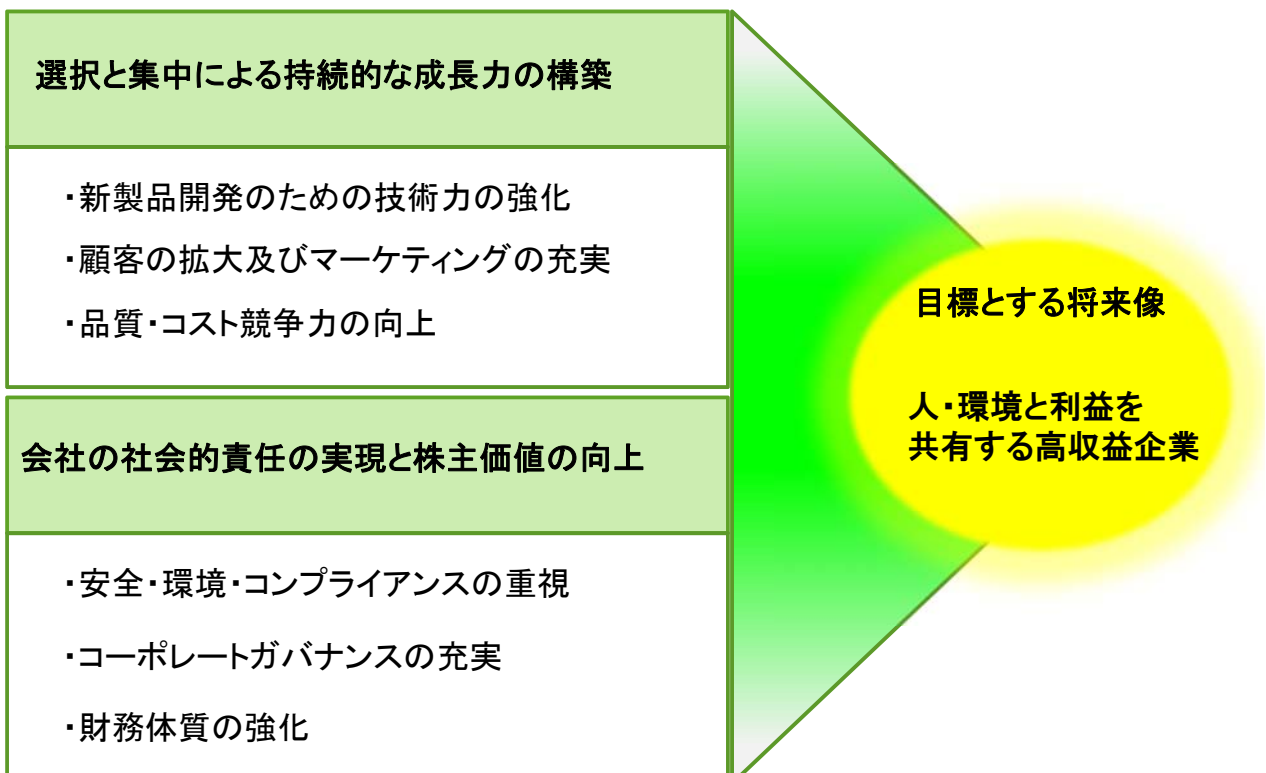
利益配分に関する基本方針

配当額:業績や事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ決定

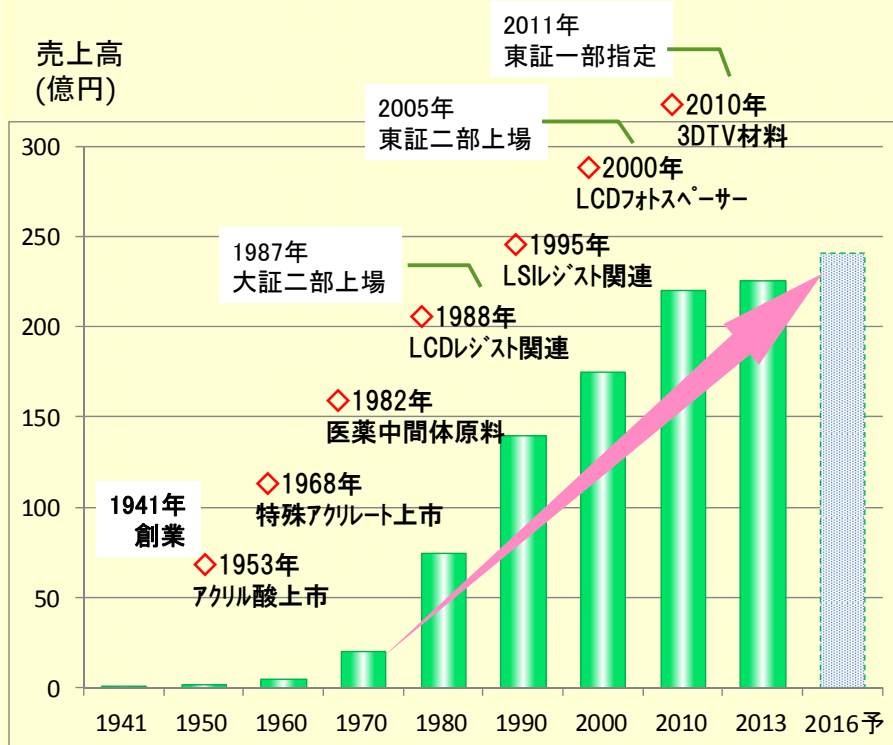
内部留保:将来につながる新製品、新技術へ向けての研究開発投資や生産能力増強、合理化や高付加価値化へ向けての設備投資等の原資として活用

III. 成長戦略・中期事業計画

成長戦略の基本軸



成長戦略の方向性

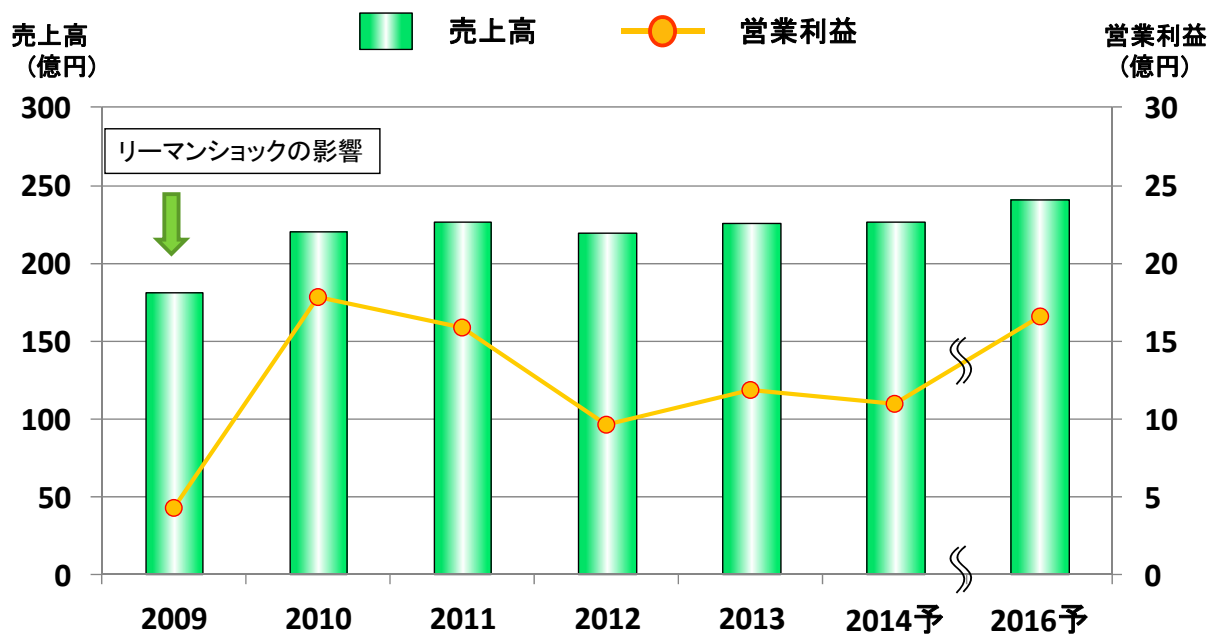


目標とする将来像

人・環境と利益を
共有する高収益企業

- ・研究開発型企业
(アクリル酸エステル・光硬化技術中心に)
- ・オンリーワン製品の充実
- ・たゆまない技術改良
- ・海外展開

当社グループの状況

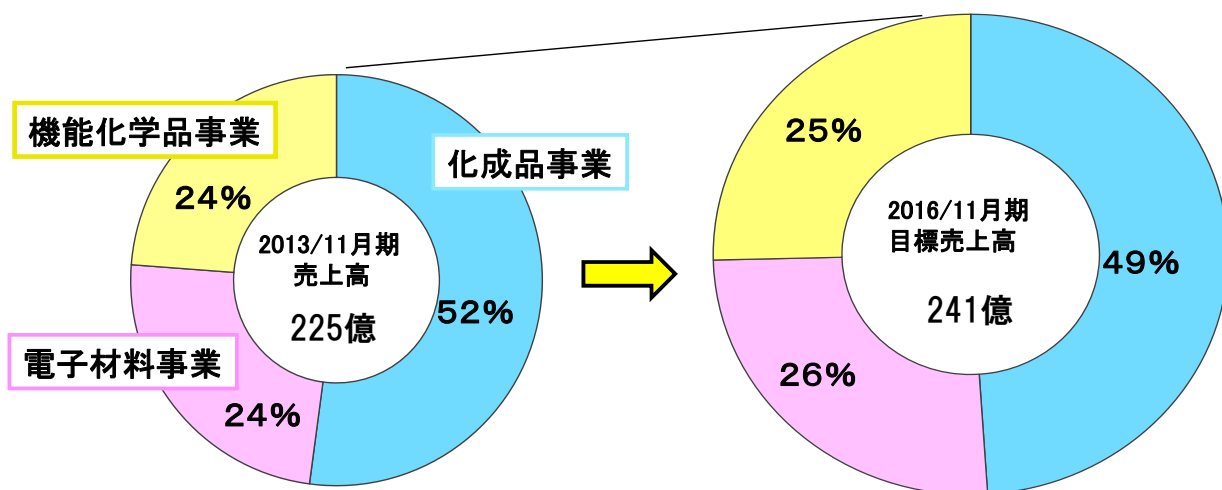


中期事業計画 収益目標(2016/11月期)

(百万円)

	'16/11月期 目標値		
		'13/11月期比	
売上高	24,117	22,559	107%
営業利益	1,656	1,185	140%
経常利益	1,749	1,366	128%
当期純利益	1,108	946	117%

中期事業計画 売上構成比(2016/11月期)



中期事業計画の方針

- ・化成品事業の商品構成の見直し
- ・電子材料事業の成長による収益の確保
- ・機能化学品事業の育成

中期事業計画 <設備投資・減価償却費・研究開発費>

(億円)

	過去3期計 ('11/11 ~ '13/11)	3期累計予想 ('14/11 ~ '16/11)	増減
	設備投資	45	66
減価償却費	43	48	112%
研究開発費	32	34	106%

主な設備投資

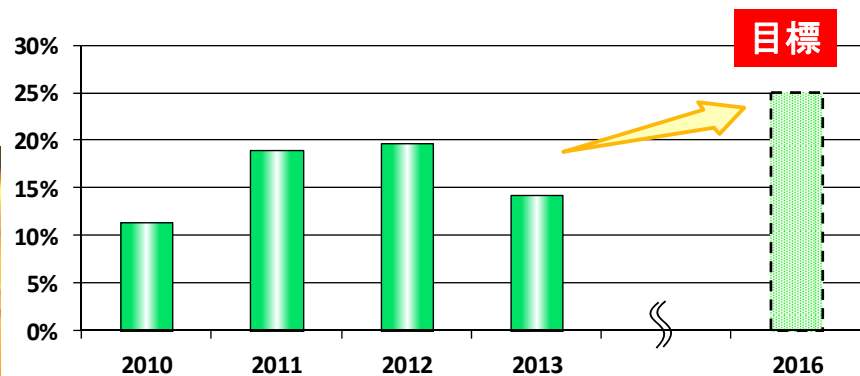
- ・大阪工場移管に伴う金沢工場・酒田工場への製造設備
- ・新研究棟(大阪工場)
- ・福利厚生設備

中期事業計画 海外展開



上海事務所

海外売上高比率



- ・上海事務所2012年3月開設、12月に海外事業担当役員が新規就任
- ・競争力のある製品の販売を進め、2016年度には海外売上高比率25%を目指す

中期事業計画 化成品事業

事業環境

- ・国内産業の伸び悩み
- ・市場の中心はアジアおよび米国

中長期の展開

<事業の強み>

- ・アクリル酸エステルの豊富なラインナップ
- ・アクリル酸エステル製造技術の研鑽

海外市場への拡販強化 (4-HBA等)
製造拠点の集約・プロセス改善
用途の多様化

競争力のある
製品をより強く

新製品開発 (V#1000 V#802 STAR等)
新規製造プロセスへ

用途開拓

基盤事業
としての強化

中期事業計画 電子材料事業

事業環境

- ・液晶パネル、半導体を用いたデバイス生産は韓国、台湾、中国が中心
- ・光微細化プロセスがキーポイント
- ・市況による変動と短い技術サイクル

中長期の展開

<事業の強み>

- ・光微細化プロセスのキーマテリアルであるアクリル酸エステルの開発から生産を一貫して行える
- ・高度な品質管理実績

海外展開強化
マーケティング
技術サポート
他社との差別化

量的拡大

次世代材料開発
高精細PS材料・絶縁膜材料
光制御材料・次世代レジスト材料

市場をリード
する材料

安定した
高収益確保

中期事業計画 機能化学品事業

事業環境

- ・アジア圏の化粧品市場の高品質化と購買力向上
- ・酢酸エステル・特殊溶剤は高機能用途にシフト

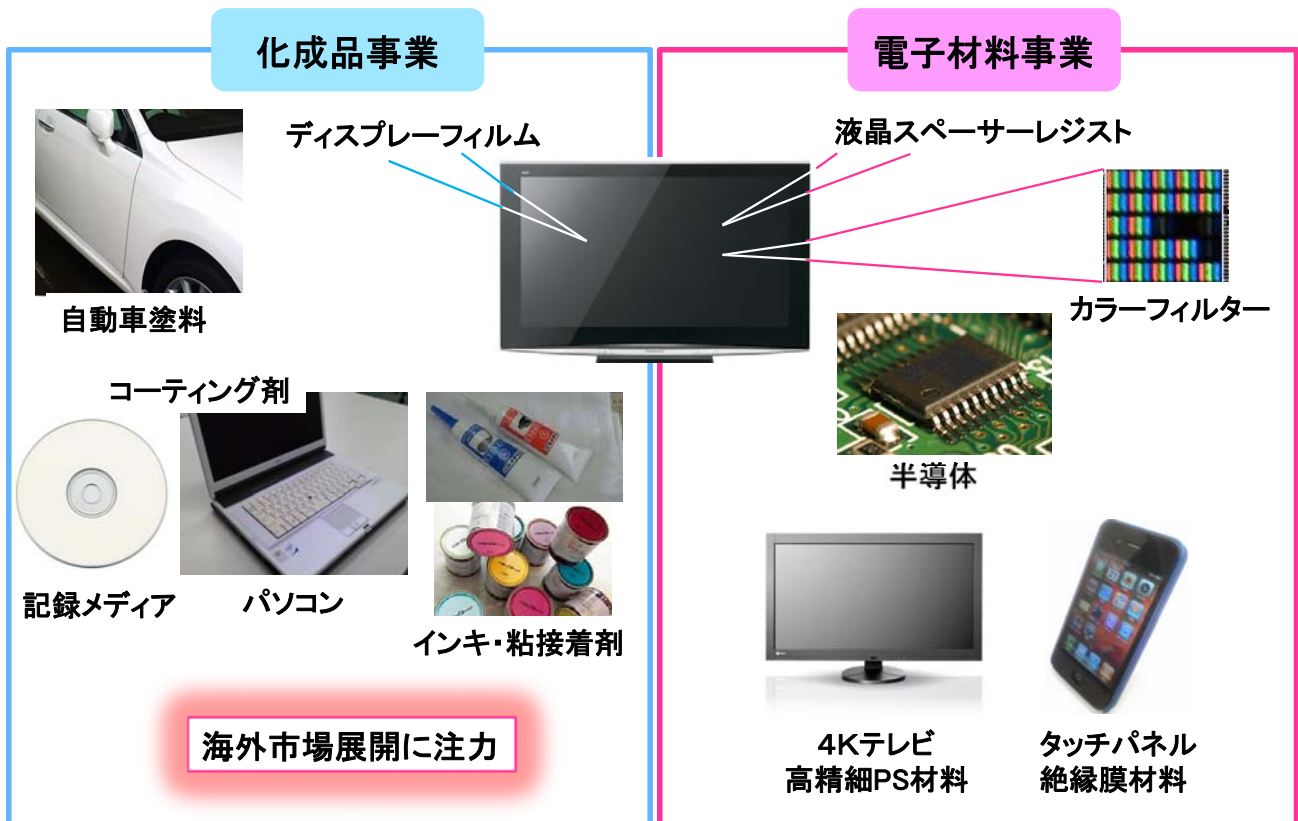
中長期の展開

<事業の強み>

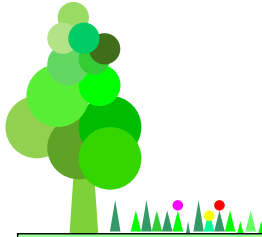
- ・機能性アクリルポリマーの設計技術
- ・精密有機合成技術と精製技術

化粧品基材の海外展開	強みを生かした分野展開	次期成長分野開拓
新規機能材料の販売促進	新規市場開拓	

中期事業計画の市場・用途



環境保全



- ・環境負荷低減技術
- ・基盤技術拡充

持続可能社会の実現・自然環境との調和

重点項目

技術的な視点

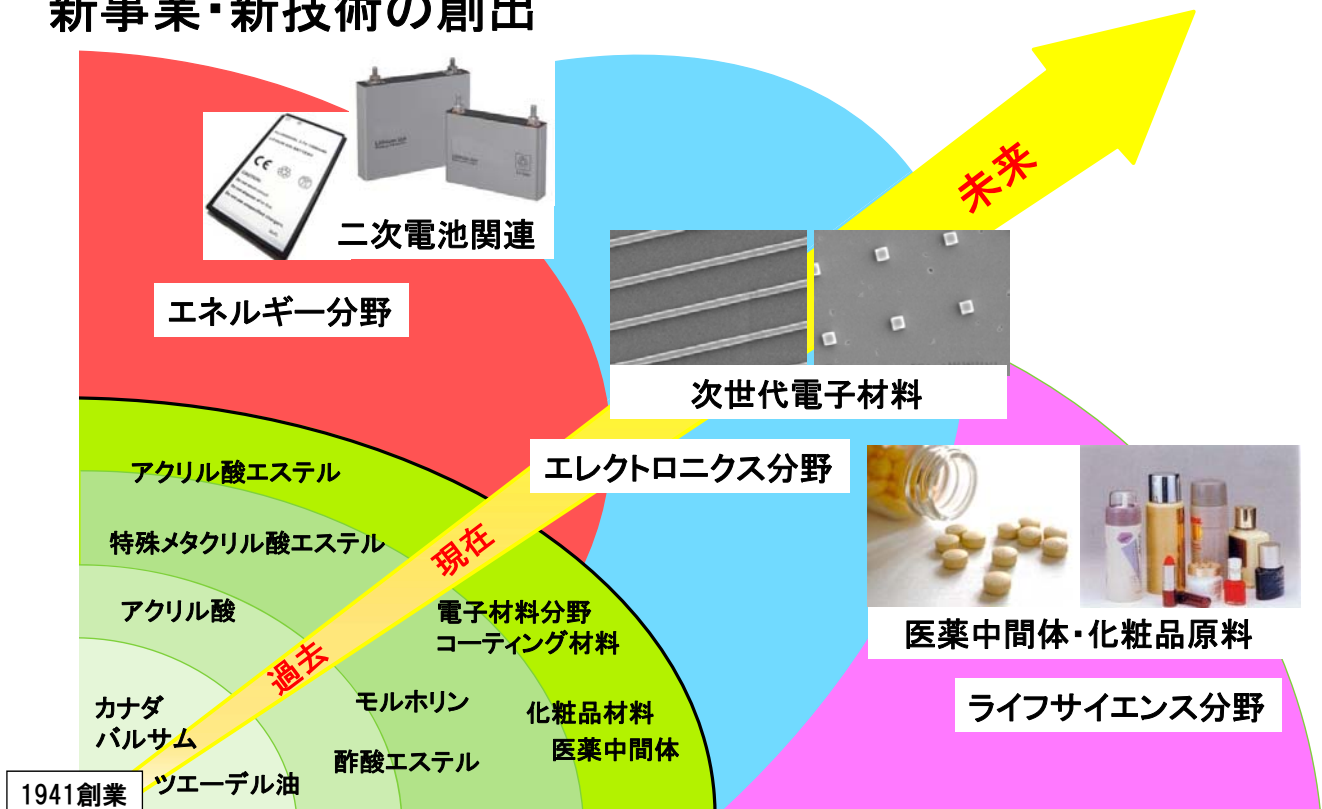
エネルギー・廃棄物量の削減
(廃油の燃料化設備)

公的研究機関との 共同研究による基礎技術拡充

- ・エステル化製品の製法
- ・新規製造技術
- ・生体適合材料
- ・表示材料

これらの開発

新事業・新技術の創出





大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.
のびゆく力、未来へ

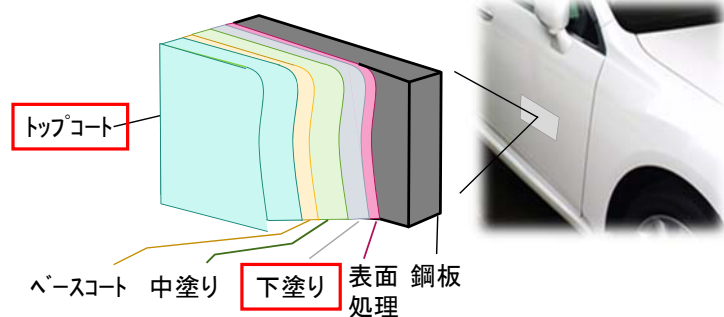
本資料の予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の内容と異なる場合があります。したがって、いかなる確約や保証を行うものではありません。

ご参考資料1 自動車塗料用「4-HBA」



2012年に完成した新設備

塗装断面図



4-HBAは、自動車用塗料の重要材料

酒田工場へ2,500トン/年能力の製造設備を建設(投資額:20億円)

ご参考資料2 高精細PS材料

フルハイビジョン対応タブレット、スマホ向け材料

高精細材料はスマホ、タブレットで進化する

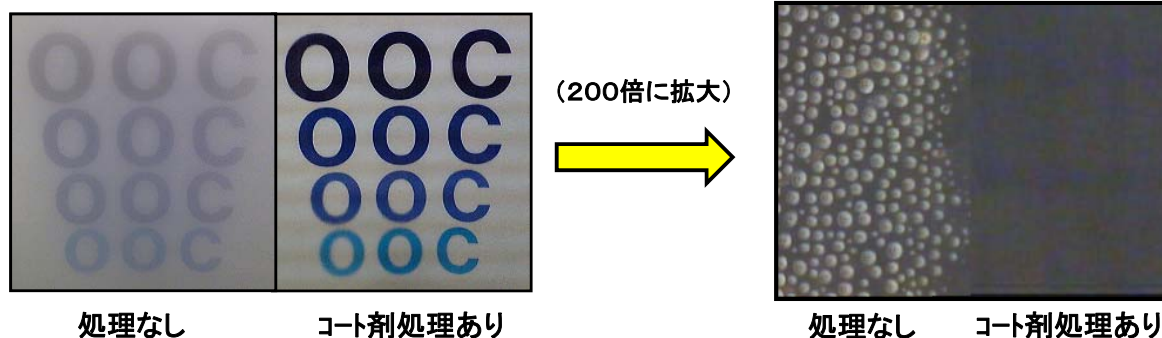
画面精細度	解像度	要求PS径 (μm)	ステージ
スタンダード	720 × 480	タブレット:12 スマホ:9	当社既存製品
フルハイビジョン	1920 × 1080	タブレット:9 スマホ:6	当社既存製品 新規採用済み
ウルトラ ハイビジョン (4K)	3840 × 2160	タブレット:6 スマホ:4	新規採用済み 開発中

ご参考資料3 新規開発材料

アクリル酸エステルとポリマー化技術の融合で生まれた

防曇 防汚 コート剤

【防曇性】



【防汚性】



ご参考資料4 比較連結貸借対照表

項目	'12/11末	'13/11末	増減	備考
資産合計	28,850	31,315	2,465	
流動資産	14,114	15,632	1,518	現金及び預金の増加 有価証券の減少
有形固定資産	10,536	9,988	△548	
投資その他の資産	3,924	5,480	1,556	投資有価証券の増加
負債合計	7,087	8,066	979	
流動負債	5,417	6,399	982	支払手形及び買掛金の増加 1年内返済予定長期借入金の減少
固定負債	1,670	1,667	△3	長期借入金の減少 繰延税金負債の増加
純資産合計	21,763	23,248	1,485	利益剰余金の増加 その他有価証券評価差額金の増加
少数株主持分	205	214	9	
負債純資産合計	28,850	31,315	2,465	

ご参考資料5 キャッシュ・フロー(連結)

項目	'12/11期	'13/11期	増減	備考
営業活動によるキャッシュフロー	1,592	2,596	1,004	税金等調整前当期純利益 減価償却費
投資活動によるキャッシュフロー	△1,843	△774	1,069	有形固定資産の取得による支出
財務活動によるキャッシュフロー	△1,346	△1,154	192	長期借入金の返済による支出 配当金の支払額
現金及び現金同等物の増減額	△1,598	666	2,264	
現金及び現金同等物の期首残高	4,678	3,080	△1,598	
現金及び現金同等物の期末残高	3,080	3,747	667	